

第13回 高知県立病院経営健全化推進委員会

次 第

日時：平成31年1月17日（木）18時30分～20時30分

会場：高知共済会館 3階「桜」

1 開 会

公営企業局長あいさつ

委員紹介

事務局紹介

2 議 事

(1) 平成29年度及び平成30年度の経営状況について

【資料1、1-2、1-3】

(2) 第6期経営健全化計画の取組状況について

【資料2】

3 その他

4 閉 会

○配布資料

資料1 県立病院の経営状況について

資料1-2 第6期経営健全化計画（平成29～32年度）の概要

資料1-3 入院収益・外来収益にかかる計画数値と実績数値の比較（平成30年度11月末累計）

資料2 第6期経営健全化計画の取組状況（平成30年度第3四半期実績まで）

高知県立病院経営健全化推進委員会 委員

氏名	所属・役職	備考
白井 隆	安芸郡医師会長 (田野病院理事長)	
宇田 淳	滋慶医療科学大学院大学 医療管理学研究科教授	委員長
奥谷 陽一	幡多医師会長 (奥谷整形外科院長)	
執印 太郎	高知大学医学部附属病院長	
野並 誠二	高知県医師会副会長 (医療法人野並会高知病院長)	
廣光 良昭	廣光良昭税理士事務所所長	
宮井 千恵	公益社団法人高知県看護協会会長	

五十音順・敬称略

1 平成29年度 経営状況（決算）の概要

(単位:百万円)

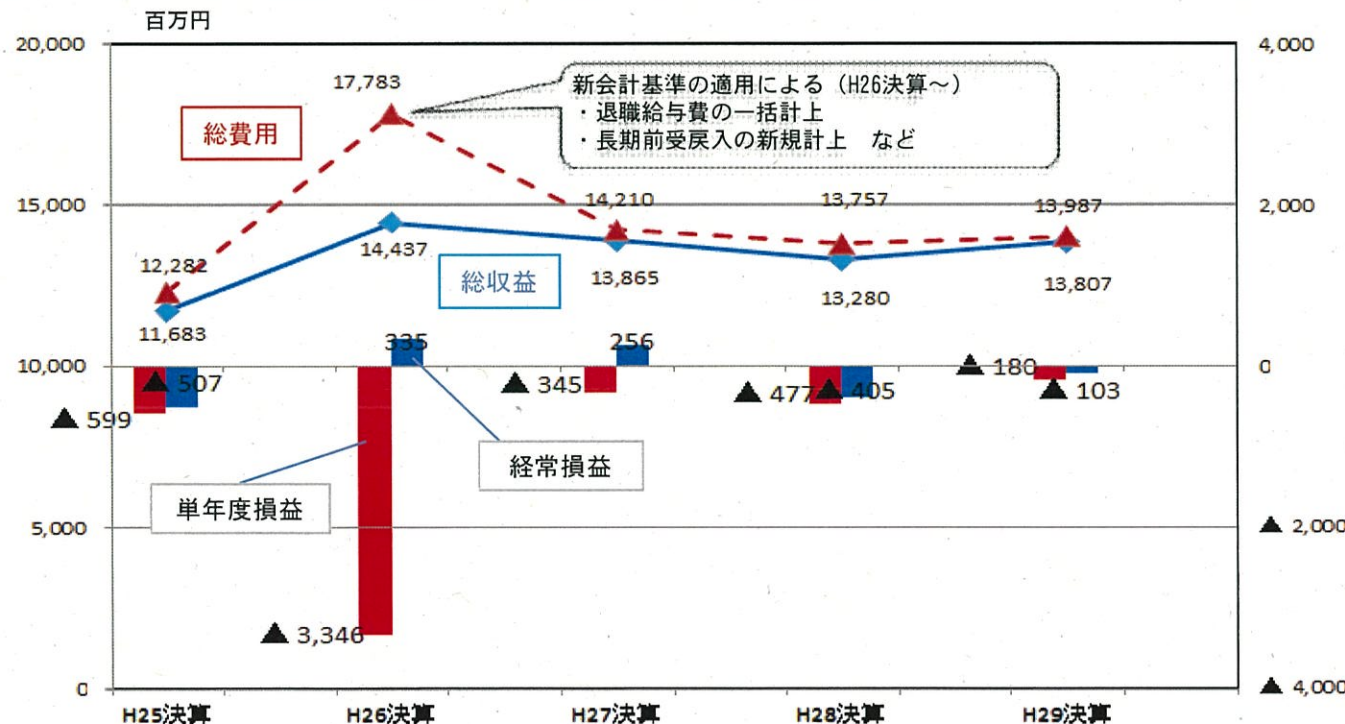
項目	あき総合病院			幡多けんみん病院			2病院合計		
	H28	H29	差引 (H29-H28)	H28	H29	差引 (H29-H28)	H28	H29	差引 (H29-H28)
医業収益①	3,921	4,100	179	5,923	6,141	218	9,844	10,241	397
うち 入院収益	2,721	2,862	141	4,166	4,338	172	6,887	7,200	313
うち 外来収益	1,123	1,158	35	1,594	1,630	36	2,717	2,788	71
医業外収益②	1,669	1,733	64	1,764	1,816	52	3,433	3,549	116
うち 他会計繰入金	1,235	1,287	52	1,242	1,263	21	2,477	2,551	74
特別利益	2	6	4	1	11	10	3	17	14
収益計	5,592	5,840	248	7,688	7,967	279	13,280	13,807	527
医業費用③	5,451	5,498	47	7,504	7,670	166	12,955	13,168	213
うち 給与費	2,998	2,965	▲33	4,048	4,054	6	7,047	7,019	▲28
うち 材料費	743	766	23	1,279	1,361	82	2,022	2,127	105
うち 減価償却費	628	642	14	718	748	30	1,346	1,390	44
医業外費用④	283	283	0	444	441	▲3	727	725	▲2
うち 支払利息及び企業債 取扱諸費	119	113	▲6	184	171	▲13	302	283	▲19
特別損失	23	48	25	51	45	▲6	75	94	19
費用計	5,757	5,830	73	8,000	8,157	157	13,757	13,987	230
当年度損益(A-B)	▲165	10	175	▲312	▲189	123	▲477	▲180	297
収益的資金収支	138	317	179	51	177	126	189	494	305
医業収支(①-③)	▲1,530	▲1,398	132	▲1,582	▲1,529	53	▲3,111	▲2,927	184
経常収支(①+②-③-④)	▲144	52	196	▲261	▲155	106	▲405	▲103	302

注)項目ごとに端数処理しているため、合計が一致しないことがある。

2 病院事業会計決算（2病院合計）の推移

(単位:百万円)

	H25決算	H26決算	H27決算	H28決算	H29決算	H29計画
総収益	11,683	14,437	13,865	13,280	13,807	13,754
総費用	12,282	17,783	14,210	13,757	13,987	14,127
単年度損益	▲599	▲3,346	▲345	▲477	▲180	▲373
経常損益	▲507	335	256	▲405	▲103	▲298
医業損益	▲2,311	▲2,224	▲2,336	▲3,111	▲2,927	▲2,936



3 平成26～29年度における経営指標

(1) あき総合病院

診療機能	単位	H26	H27	H28	H29		前年比 (H29-H28)	計画比 (実績-計画)
					計画	実績		
救急車受入件数	件	1,683	1,679	1,708	1,724	1,876	168	152
手術件数	件	806	823	873	875	879	6	4
新入院患者数	人	2,977	3,357	3,162	3,206	3,217	55	11
紹介患者数	人	1,552	1,967	1,876	1,811	1,811	▲65	▲
逆紹介患者数	人	2,554	2,758	2,678	2,628	2,628	▲50	▲
経営指標	%	98.9	101.2	97.5	98.3	100.9	3.4	2.6
1日平均入院患者数	人	143.1	149.7	150.2	149.5	162.1	11.9	12.6
病床利用率(稼働)	%	81.3	85.4	85.4	85.4	92.0	6.6	6.6
入院診療単価	円	37,562	40,313	41,672	42,842	41,122	▲550	▲1,720
1日平均入院患者数	人	79.7	79.4	77.4	76.8	78.3	0.9	1.5
病床利用率(稼働)	%	88.5	88.2	86.0	85.4	87.0	1.0	1.6
入院診療単価	円	14,826	15,140	15,453	15,491	15,002	▲451	▲489

(2) 幡多けんみん病院

診療機能	単位	H26	H27	H28	H29		前年比 (H29-H28)	計画比 (実績-計画)
					計画	実績		
紹介患者数	人	3,266	3,202	3,096	2,935	2,935	▲161	▲
逆紹介患者数	人	6,536	6,570	6,521	6,750	6,750	229	▲
紹介率	%	29.7	30.8	30.8	33.8	32.5	1.7	▲1.3
逆紹介率	%	59.5	63.1	64.8	63.8	74.8	10.0	11.0
新入院患者数	人	6,324	6,124	5,634	5,891	5,847	213	▲44
手術件数	件	2,060	2,152	1,807	1,912	1,912	105	▲
救急車受入件数	件	2,445	2,446	2,463	2,633	2,633	170	▲
経営指標	%	105.0	102.4	96.7	97.6	98.1	1.4	0.5
1日平均入院患者数	人	241.3	230.9	223.1	229.2	230.2	7.1	1.0
病床利用率(稼働)	%	77.3	73.9	71.5	73.7	76.7	5.2	3.0
入院診療単価	円	52,567	52,073	51,156	51,693	51,617	461	▲76

4 平成30年度11月末における経営指標

注)救急車受入件数、新入院患者数、手術件数、入院収益及び外来収益の計画値は4～11月分に換算した数値・金額。

(1) あき総合病院

	単位	H30.11末 実績値	H30 計画値
救急車受入件数	件	1,297	1,133
新入院患者数	人	2,253	2,176
手術件数	件	577	628
入院収益	百万円	1,691	1,574
病床利用率(稼働)	%	89.7	85.7
1日平均入院患者数	人	157.5	149.9
入院診療単価	円	44,012	43,521
外来収益	百万円	731	703
1日平均外来患者数	人	403.4	407.3
外来診療単価	円	10,849	10,565
入院収益	百万円	288	292
病床利用率(稼働)	%	87.1	85.4
1日平均入院患者数	人	78.4	76.8
入院診療単価	円	15,031	15,491
外来収益	百万円	74	73
1日平均外来患者数	人	59.5	59.1
外来診療単価	円	7,418	7,556

(2) 幡多けんみん病院

	単位	H30.11末 実績値	H30 計画値
新入院患者数	人	3,742	3,942
紹介率	%	33.5	36.8
逆紹介率	%	76.4	65.8
入院収益	百万円	2,783	2,864
病床利用率(稼働)	%	72.4	74.9
1日平均入院患者数	人	211.4	232.8
入院診療単価	円	53,941	51,800
外来収益	百万円	1,057	1,059
1日平均外来患者数	人	468.1	521.9
外来診療単価	円	13,518	12,741

1. 計画の目標(目指す姿)

■地域生活(QOL)を支える中核病院として、地域の医療機関等との連携のもと、質の高い医療の持続的な提供が可能となる健全経営を目指す!

2. 目標達成に向けた重点取組み項目

(1) 県民が地域地域で安心して住み続けられる医療提供体制の整備!

(1) 地域医療構想を踏まえた県立病院の果たすべき役割の発揮

- ①急性期病院としての医療機能の充実・強化
 - 地域医療構想で示された必要病床数への対応
 - 救急医療体制の充実(あき総合)
 - 地域がん診療連携拠点病院としての診療機能の充実(幡多けんみん)
 - 地域がん診療病院の指定に向けた機能の充実(あき総合)
- ②地域医療を支えるためのネットワークづくり(医師の派遣・応援システム)

(2) 地域包括ケアシステムの構築の推進に向けた機能の充実・強化

- ①地域包括ケア病棟を活用した在宅医療等との連携の強化(あき総合)
- ②介護・福祉分野等との連携の推進

(3) 医療人材の安定確保!

医師等の医療スタッフを確保・育成するための取組の強化

- ①医師をはじめとする医療スタッフの安定確保
 - 大学との連携強化・PNSの試行
- ②医師の養成研修への積極的な対応
 - 初期臨床・専門医研修の受入体制の整備
- ③医師以外の医療スタッフの専門性の向上
- ④各種の業務補助者の適正配置
- ⑤プロパー事務職員の専門性の向上

(2) 医療機能の向上による経営の健全化!

質の高い医療の提供につながる経営改善目標の設定

- ①収益の安定確保につながる取組の強化
 - 医療サービスの質と収益性の高い医療の提供に向けたDPC機能評価係数の向上等の検討。
- ②病院機能評価を通じた医療サービスの質の改善(患者満足度の向上)
 - 病院機能の評価項目ごとの定期的な点検を通じた改善策の検討。
- ③収支計画を踏まえた計画的な投資戦略
 - 医療業務と経営の効率化といった観点からの電子カルテの更新時期の検討。
- ④材料費の適正管理
- ⑤未収金発生未然防止と適正管理による縮減
 - 債権管理条例や未収金管理マニュアル等に基づく未収金発生未然防止と適正管理

(4) 南海トラフ地震対策の充実・強化!

熊本地震等を踏まえた第3期南海トラフ地震対策行動計画の見直し等への対応

- ①業務継続計画(BCP)の実効性の担保
 - 医療機器等の安全性の確保
 - 重症患者の院内からの搬送体制の整備
 - 応援医療チームの受入体制の整備
- ②災害訓練等の充実・強化
 - 患者収容能力の向上など、災害拠点病院としての役割・機能の発揮を想定した訓練の実施

3. 収支計画における経営目標

■県立病院として、「平成32年度までに病院事業全体で経常収支の黒字が達成できる経営」を目指す!

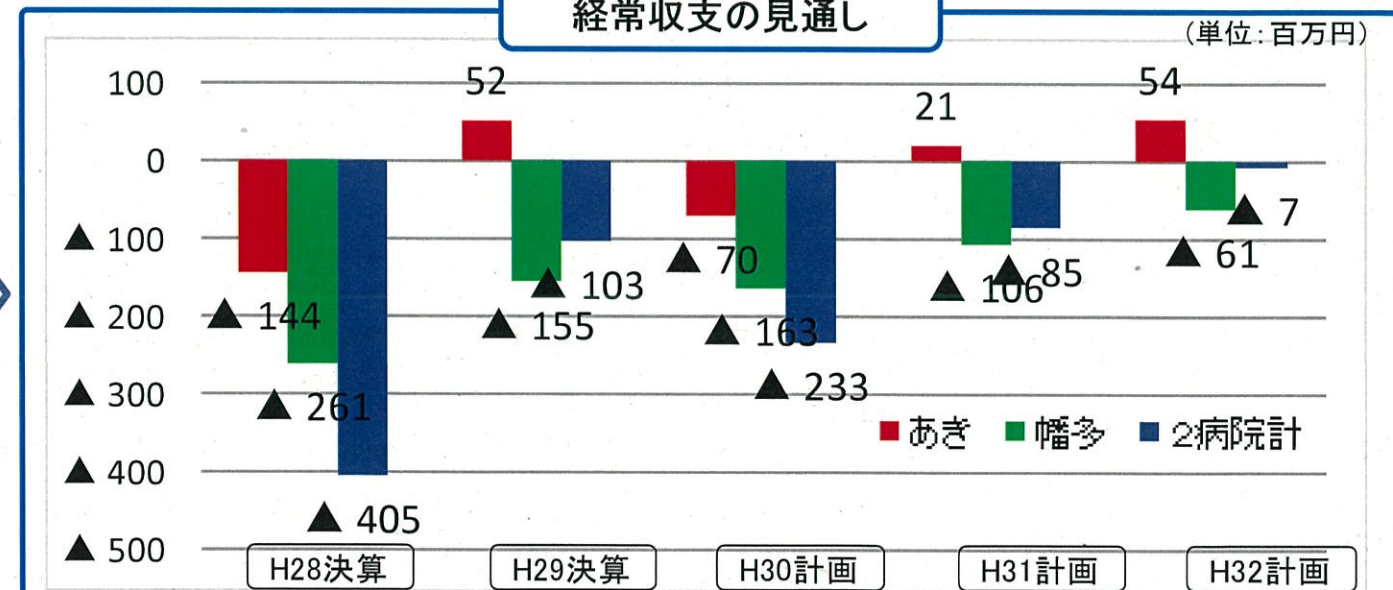
地域医療構想を踏まえた医療提供体制の整備!

診療報酬と介護報酬の同時改定等への適切な対応!

県立病院として地域の医療機関を支援する機能の充実!

厳しさを増す経営環境への迅速な対応による経営の健全化!

経常収支の見通し



資料1-3

入院収益・外来収益にかかる計画数値と実績数値の比較(平成30年度11月末累計)

◎H30計画金額は、第6期経営健全化計画における平成30年度の入院・外来収益の計画数値に平成29年度実績に基づく月別構成比率を乗じて算出。

(但し、H30計画金額は税抜きで、H30実績、H29実績の金額は税込み。)

○あき総合病院 (単位:円)

入院収益		計(11月末)	外来収益		計(11月末)	入院・外来 計		計(11月末)
H30計画	(A)	1,866,183,452	H30計画	(A)	776,172,288	H30計画	(A)	2,642,355,740
H30実績	(B)	1,978,751,717	H30実績	(B)	804,644,321	H30実績	(B)	2,783,396,038
H29実績	(C)	1,896,746,025	H29実績	(C)	775,903,059	H29実績	(C)	2,672,649,084
(B)-(A) 計画比		112,568,265	(B)-(A) 計画比		28,472,033	(B)-(A) 計画比		141,040,298
(B)-(C) H29同期比		82,005,692	(B)-(C) H29同期比		28,741,262	(B)-(C) H29同期比		110,746,954

○幡多けんみん病院 (単位:円)

入院収益		計(11月末)	外来収益		計(11月末)	入院・外来 計		計(11月末)
H30計画	(A)	2,864,027,772	H30計画	(A)	1,059,027,889	H30計画	(A)	3,923,055,661
H30実績	(B)	2,782,596,851	H30実績	(B)	1,056,692,098	H30実績	(B)	3,839,288,949
H29実績	(C)	2,822,747,587	H29実績	(C)	1,064,046,134	H29実績	(C)	3,886,793,721
(B)-(A) 計画比		△ 81,430,921	(B)-(A) 計画比		△ 2,335,791	(B)-(A) 計画比		△ 83,766,712
(B)-(C) H29同期比		△ 40,150,736	(B)-(C) H29同期比		△ 7,354,036	(B)-(C) H29同期比		△ 47,504,772

◎県立病院 計 (単位:円)

入院収益		計(11月末)	外来収益		計(11月末)	入院・外来 計		計(11月末)
H30計画	(A)	4,730,211,224	H30計画	(A)	1,835,200,177	H30計画	(A)	6,565,411,401
H30実績	(B)	4,761,348,568	H30実績	(B)	1,861,336,419	H30実績	(B)	6,622,684,987
H29実績	(C)	4,719,493,612	H29実績	(C)	1,839,949,193	H29実績	(C)	6,559,442,805
(B)-(A) 計画比		31,137,344	(B)-(A) 計画比		26,136,242	(B)-(A) 計画比		57,273,586
(B)-(C) H29同期比		41,854,956	(B)-(C) H29同期比		21,387,226	(B)-(C) H29同期比		63,242,182

あき総合病院 入院収益・外来収益の過去実績との比較(11月末累計値)

○入院収益

(単位:円)

	11月までの累計値			差引1(30-29)	差引2(30-26)	
	30年度	29年度	26年度			
あき総合病院	内科	402,786,118	311,189,471	262,576,184	91,596,647	140,209,934
	呼吸器内科	68,059,252	88,815,112	41,156,018	▲ 20,755,860	26,903,234
	消化器内科	12,654,988	13,019,657	50,166,217	▲ 364,669	▲ 37,511,229
	循環器内科	294,546,871	261,743,198	99,856,210	32,803,673	194,690,661
	小児科	19,763,818	21,626,887	15,658,936	▲ 1,863,069	4,104,882
	外科	310,905,798	321,668,142	319,750,100	▲ 10,762,344	▲ 8,844,302
	整形外科	360,551,584	385,946,356	375,870,484	▲ 25,394,772	▲ 15,318,900
	脳神経外科	109,793,357	92,571,748	0	17,221,609	109,793,357
	心臓血管外科	2,730	0	0	2,730	2,730
	皮膚科	332,716	895,162	6,011,821	▲ 562,446	▲ 5,679,105
	泌尿器科	14,096,699	13,919,881	11,278,004	176,818	2,818,695
	産婦人科	57,448,056	60,918,008	47,351,867	▲ 3,469,952	10,096,189
	眼科	20,819,853	19,097,573	14,725,977	1,722,280	6,093,876
	耳鼻いんこう科	12,324,034	14,608,215	17,794,191	▲ 2,284,181	▲ 5,470,157
	形成外科	6,971,076	2,276,329	209,434	4,694,747	6,761,642
	神経内科	154,570	0	0	154,570	154,570
	小計	1,691,211,520	1,608,295,739	1,262,405,443	82,915,781	428,806,077
精神科	287,540,197	288,450,286	272,476,696	▲ 910,089	15,063,501	
計	1,978,751,717	1,896,746,025	1,534,882,139	82,005,692	443,869,578	

○外来収益

(単位:円)

	11月までの累計値			差引1(30-29)	差引2(30-26)	
	30年度	29年度	26年度			
あき総合病院	内科	174,262,586	171,358,068	123,270,248	2,904,518	50,992,338
	呼吸器内科	31,282,126	34,332,611	16,694,330	▲ 3,050,485	14,587,796
	消化器内科	50,256,226	66,266,824	46,626,806	▲ 16,010,598	3,629,420
	循環器内科	60,787,450	54,711,445	32,775,130	6,076,005	28,012,320
	小児科	24,832,116	25,558,469	35,525,678	▲ 726,353	▲ 10,693,562
	外科	93,156,905	82,069,613	82,716,803	11,087,292	10,440,102
	整形外科	94,079,859	82,913,313	90,944,992	11,166,546	3,134,867
	脳神経外科	26,198,919	22,728,116	5,516,868	3,470,803	20,682,051
	心臓血管外科	1,752,216	1,445,475	943,515	306,741	808,701
	皮膚科	14,722,549	15,102,937	19,375,103	▲ 380,388	▲ 4,652,554
	泌尿器科	84,483,962	78,228,466	80,058,412	6,255,496	4,425,550
	産婦人科	20,593,336	18,236,466	15,994,385	2,356,870	4,598,951
	眼科	24,917,138	24,033,040	24,783,064	884,098	134,074
	耳鼻いんこう科	20,789,454	19,921,001	21,897,427	868,453	▲ 1,107,973
	形成外科	4,842,288	4,899,227	3,343,310	▲ 56,939	1,498,978
	神経内科	3,941,179	4,093,123	2,108,129	▲ 151,944	1,833,050
	小計	730,898,309	705,898,194	602,574,200	25,000,115	128,324,109
精神科	73,746,012	70,004,865	73,487,184	3,741,147	258,828	
計	804,644,321	775,903,059	676,061,384	28,741,262	128,582,937	

幡多けんみん病院 入院収益・外来収益の過去実績との比較(11月末累計値)

○入院収益

(単位:円)

	11月までの累計値			差引1(30-29)	差引2(30-28)	
	30年度	29年度	28年度			
幡多けんみん病院	内科	282,506,452	238,748,928	251,216,836	43,757,524	31,289,616
	精神科	0	0	0	0	0
	神経内科	0	0	0	0	0
	呼吸器科	0	0	0	0	0
	消化器科	288,004,576	313,352,625	332,769,959	▲ 25,348,049	▲ 44,765,383
	循環器科	294,788,718	295,342,217	289,114,417	▲ 553,499	5,674,301
	小児科	161,358,787	157,915,243	137,965,181	3,443,544	23,393,606
	外科	503,113,412	464,995,474	428,312,581	38,117,938	74,800,831
	整形外科	574,176,207	558,039,851	532,325,795	16,136,356	41,850,412
	脳神経外科	321,897,023	346,142,712	305,502,488	▲ 24,245,689	16,394,535
	皮膚科	10,900,833	17,751,665	20,346,207	▲ 6,850,832	▲ 9,445,374
	泌尿器科	65,882,190	100,462,944	95,342,364	▲ 34,580,754	▲ 29,460,174
	産婦人科	210,098,518	228,166,814	259,299,974	▲ 18,068,296	▲ 49,201,456
	眼科	0	0	0	0	0
	耳鼻いんこう科	37,963,738	70,161,222	69,163,103	▲ 32,197,484	▲ 31,199,365
	リハビリ科	0	0	0	0	0
	放射線科	755,703	0	4,951,003	755,703	▲ 4,195,300
	麻酔科	31,150,694	31,667,892	39,118,216	▲ 517,198	▲ 7,967,522
	計	2,782,596,851	2,822,747,587	2,765,428,124	▲ 40,150,736	17,168,727

○外来収益

(単位:円)

	11月までの累計値			差引1(30-29)	差引2(30-28)	
	30年度	29年度	28年度			
幡多けんみん病院	内科	108,615,479	108,681,833	121,948,513	▲ 66,354	▲ 13,333,034
	精神科	0	0	0	0	0
	神経内科	0	0	0	0	0
	呼吸器科	0	0	0	0	0
	消化器科	204,631,733	189,542,815	193,251,754	15,088,918	11,379,979
	循環器科	60,359,042	61,511,532	74,720,102	▲ 1,152,490	▲ 14,361,060
	小児科	72,002,533	72,553,692	71,021,582	▲ 551,159	980,951
	外科	211,119,287	221,621,107	180,385,639	▲ 10,501,820	30,733,648
	整形外科	73,355,251	74,493,795	65,737,885	▲ 1,138,544	7,617,366
	脳神経外科	80,966,881	79,982,138	81,925,567	984,743	▲ 958,686
	皮膚科	19,660,480	22,140,159	23,509,115	▲ 2,479,679	▲ 3,848,635
	泌尿器科	97,325,707	106,059,379	103,503,965	▲ 8,733,672	▲ 6,178,258
	産婦人科	54,926,101	51,178,446	58,824,822	3,747,655	▲ 3,898,721
	眼科	37,819,315	33,466,103	32,914,905	4,353,212	4,904,410
	耳鼻いんこう科	23,584,941	32,308,336	33,932,202	▲ 8,723,395	▲ 10,347,261
	リハビリ科	0	0	0	0	0
	放射線科	11,119,528	7,998,777	10,515,085	3,120,751	604,443
	麻酔科	1,205,820	2,508,022	1,088,746	▲ 1,302,202	117,074
	計	1,056,692,098	1,064,046,134	1,053,279,882	▲ 7,354,036	3,412,216

第6期経営健全化計画の取組状況【あき総合病院】

No.	具体的な取組内容	目標値						No.	達成状況	H30年度 第3四半期評価				コメント			
		指標	H28年度	H29年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度	計画達成	進捗状況 計画以上	進捗状況 計画通り		遅延	評価 保留	
			(実績)	(計画)	(実績)	(計画)	(計画)			(計画)							
1	① 地域医療構想を踏まえた県立病院の果たすべき役割の整備 ② 地域医療構想を踏まえた県立病院の果たすべき役割の整備 ③ 地域医療構想を踏まえた県立病院の果たすべき役割の整備 ④ 地域医療構想を踏まえた県立病院の果たすべき役割の整備 ⑤ 地域医療構想を踏まえた県立病院の果たすべき役割の整備 ⑥ 地域医療構想を踏まえた県立病院の果たすべき役割の整備 ⑦ 地域医療構想を踏まえた県立病院の果たすべき役割の整備 ⑧ 地域医療構想を踏まえた県立病院の果たすべき役割の整備 ⑨ 地域医療構想を踏まえた県立病院の果たすべき役割の整備 ⑩ 地域医療構想を踏まえた県立病院の果たすべき役割の整備	今後の取組 (ア)地域医療構想で示された必要病床数への対応	○地域における今後の医療ニーズを踏まえた病床機能の検討						1	(検討の経過) -H29.5 コンサル契約及びキックオフ -H29.6 コンサルと各部署とのヒアリング -H29.7、8 毎月の経営幹部会議でコンサルから検討内容報告 -H29.10 コンサルからの中間報告 →地域包括ケア病床(40床～60床程度)の増床が必要と考えられる。 -H30.3 コンサルからの報告 →地域包括ケア病床(40床～60床程度)の増床が必要と考えられる。			○		必要病床数については引き続き検討中		
		(イ)救急医療体制の充実	救急車受入件数	1,708	1,724	1,876	1,732	1,740	1,748	2	救急医療や手術に携わる医師の増員に向けて、高知大学医学部への医師派遣要請を継続する。			○			
			手術件数	873	875	879	883	891	899	3	健康政策部や高知医療再生機構等との連携を強化する。 →高知大学から派遣が困難な診療科の医師について、高知医療再生機構から人材派遣受入れを検討する。			○			
			新入院患者数	3,162	3,206	3,217	3,206	3,206	3,206	4	必要に応じて医師の公費を行う。 →高知大学の了承のもとホームページで医師の公費を行う。			○			
										5	専門医制度における研修医等の受入体制を強化する。 →専門研修プログラムの連携施設に登録し、宿舎、医局等の研修環境を整備する。(再掲)						
			(ウ)地域がん診療病院の指定に向けた診療機能の充実	a がん診療に携わる医師の増員	6 がん診療に携わる医師の増員に向けて、高知大学医学部への医師派遣要請を継続する。						6	(医師確保の状況・NO.31のうち該当するもの) H29.5、7 訪問 H30.2、3 訪問 H30.4、8、9(公営企業局のみ) 訪問			○		
					7 健康政策部や高知医療再生機構等との連携を強化する。 →高知大学から派遣が困難な診療科の医師について、高知医療再生機構から人材派遣受入れを検討する。						7	(人材派遣受入の状況等・NO.32のうち該当するもの) 高知医療再生機構からの医師派遣 (H29.4～H30.8 非常勤医師1名)			○		
				b 指定要件の充足に向けたがん診療機能の充実	9 がん診療連携拠点病院と定期的な合同カンファレンスを実施する。						9	(実施状況) H29.4 実施 H29.7月～H30.3月 キャンサーボード実施 H30.4月～H30.12月 高知大がんセンターボード出席			○		
					10 がんの院内バス及び地域連携バスを整備する。						10	(整備状況) 高知県内で使用されているがんに関する地域連携バスを採用している(胃がん、大腸がん、肺がん、前立腺がん、緩和医療)。院内バスに関しては前立腺がん、肺がん、大腸がん、乳がんに関するバスの見直しを行い、整備した。			○		
					11 緩和ケアチームの充実及びがん相談支援センターの設置に向けた体制を整備する。						11	(整備状況) -H29.4及びH29.6に院内検討会を開催 -H29.8 がん相談支援センター設置 -H29.12 あき総合病院がんサロンの運営要綱策定 H30.12 がんサロン開催			○		
	りめイ地域医療ネットワークづくり	(ア)医師の派遣・応援の仕組みづくり	a 健康政策部との連携による医師派遣の仕組みづくり	12 地域の中核病院である県立病院から地域の医療機関に医師を派遣するための仕組みを構築する。 →派遣医師の院内サポート体制を構築する。						12	(派遣状況) 室戸市立室戸診療所 月2回外来診療 医療法人瑞風会森澤病院 平日月曜日当直及び土日祝(不定期) 医療法人祐和会津田クリニック 第一土曜日 医療法人愛生会室戸中央病院 第三土曜日			○			
			b 高知大学医学部等と連携した県立病院における医師の養成体制の整備	13 高知大学や健康政策部等との連携強化を図り、専門研修医等を積極的に受け入れるための体制を整備する。 →専門研修プログラムの連携施設に登録し、宿舎、医局等の研修環境を整備する。(再掲)						13	(再掲) NO.37に記載						
	② 地域包括ケアシステムの構築の推進に向けた機能の充実・強化	ア 地域包括ケア病床を活用した在宅医療等との連携の強化	○地域包括支援センターや介護事業者等とのネットワークづくり	14 高知医療介護情報連携システムの活用による在宅医療の支援 →在宅医療患者の情報を共有し、訪問看護事業者等からの相談対応等を行う。						14	(医療介護ICT利用状況) H29.5 訪問看護で1名登録 H29.9～H30.3 あき地域包括を中心に月1回ワーキンググループで運用検討実施 H30.4～H30.12 あき地域包括を中心に月1回ワーキンググループで運用検討実施			○			
		イ 介護・福祉分野等との連携の推進		15 地域での円滑な療養生活の実現に向けた市町村や訪問看護事業者等との定期的な意見交換の実施						15	(実施状況) -H29.4、10 安芸市ケアマネ定例会参加 -H29.6、10 安芸市地域包括支援センター関係機関との情報交換会参加 -H29.7 ケアマネ定例会(中基地区)参加 -H29.8、9、10、H30.2 田野病院退院支援事業 -H29.9 安芸福祉保健所退院調整ルール(仮) 参加 -H29.10 ケアマネ定例会(安芸) -H29.11 東部四者会 -H29.12 高知県介護支援専門員連絡協議会研修参加 -H30.3 安芸圏域医療機関・介護支援専門員による勉強会及び意見交換会 -H30.4 ケアマネ定例会(安芸) -H30.5 東部四者会 -H30.9 ケアマネ定例会(安芸) -H30.10 ケアマネ定例会(安芸) -H30.11 東部四者会 -H30.11 安芸圏域医療機関・介護支援専門員等による勉強会及び意見交換会			○			
				16 退院後の円滑な生活を支える介護サービス等の確保に関して、介護支援専門員等と共同した相互の情報提供等を実施→介護支援連携指針の算定件数増						16	(算定実績) H29.4-6 15件 H29.7-9 18件 H29.10-12 6件 H30.1-3 8件 H30.4-6 18件 H30.7-9 18件 H30.10-12 13件			○		H30.10-12はレポート確定前の件数。	

第6期経営健全化計画の取組状況【あき総合病院】

	今後の取組	目標値						No.	具体的な取組内容	達成状況	H30年度 第3四半期評価				コメント	
		指標	H28年度	H29年度	H29年度	H30年度	H31年度				H32年度	計画達成	進捗状況	評価		保留
			(実績)	(計画)	(実績)	(計画)	(計画)				(計画)					
								17	在宅生活に復帰するための支援や容体悪化時の緊急入院の受入など、地域包括ケア病棟の機能を活用した安全・安心な在宅療養生活への支援	(在宅復帰率・在宅からの受入数等) H29.4-H30.3 在宅復帰率77.0%、在宅及び転院受入数35名 H30.4-6 18件 78.9% H30.7-9 8件 81.7% H30.10-12 13件 76.2%						
2 医療機能の向上による経営の健全化！	a 収益の安定確保につながる取組の強化	医療収支比率	71.9%	74.2%	74.0%	75.7%	78.4%	80.4%	18	包括評価制度(DPC)分析ソフトの活用等により、質の高い医療の提供に向けた取組(DPC機能評価係数の向上等)を検討する。	(分析資料の作成・報告状況) ODPC委員会、6月、9月、11月、2月開催。 主な内容として、疾患別・診療科別増収率、DPCと出来高差額の結果より減収額が多かった患者上位3件を分析し報告。現在、効率性指数向上に向けた取り組みをおこなっている。分析内容として、DPCコードから、全国で症例数が多いコードの平均在院日数から当該の在院日数を比較し、長期化している疾患の分析。結果は該当診療科の医師に報告を始めている。(今年度から実施し、循環器、脳外科、外科へこれまで報告済)。また、看護必要度が低い疾患で症例数が多く在院日数が長期化している疾患も併せて分析を進めている。11月から1回幹部会で分析報告を行っている。 ODPC機能評価係数Ⅱに係る各項目指数(DPC分析システムEVEより算出) H29年度平均 ・部位不明・詳細不明コード使用率:6.51 ・効率性指数:平均-1.19 ・複雑性指数:平均-0.945 ・カバー率指数:平均-0.016 ・救急医療指数:平均-1145.9 ・後発医薬品指数:平均-0.896 ・重症度指数:平均-0.96 H30年度 平成4月~11月平均。 ・部位不明・詳細不明コードの使用率...4.89 ・効率性指数...1.20 ・複雑性指数...0.952 ・カバー率指数...0.017 ・救急医療指数...816.83 ○院内クリニカルパス承認件数 H29.7月:32件、H30.3月時点:55件、9月時点:108件、12月時点:112件。 ・院内クリニカルパス使用率(H30年度4~12月平均):35.0%、(H29年度:26.3%)					※部位不明などの使用率についてはH30.11までの実績。
		経常収支比率	97.5%	98.3%	99.0%	98.8%	100.4%	100.9%	19	コンサルタント業者の活用等により収益確保を検討する。	(検討の経過) ・経営分析システムを導入 指導料等の数値目標について、部門と協議 ・H29.5.15 経営コンサルと契約締結 ・H30.3.29 業務完了報告 ・H30.4~ MDV MC研究会参加					メディカルコードの活用について四国内の医療機関と情報共有
	b 病院機能評価を通じた質の改善(患者満足度の向上)	【一般】病床利用率(結核除く)	85.4%	85.4%	92.0%	85.7%	85.8%	86.1%	20	病院機能の評価項目ごとに定期的な点検を行い、必要に応じて改善策を講じる。	(点検状況) ・各部署において、点検を実施済み。H30.2月に期中確認を報告済み。					
		1日平均入院患者数	150.2	149.5	162.1	149.9	150.1	150.7	21	医事や給食に関する患者満足度調査を定期的に実施し、改善策を検討する。	(調査実績) ・給食 H29.8 身体科に実施 満足、やや満足で47.8%。普通までを含め85%。 ・給食 H29.12 精神科に実施 満足、やや満足で84.6%。普通(0件)までを含め84.6%。 ・医事 外来 満足、やや満足で96%。無回答を除くと99%。 入院 満足、やや満足で91%。無回答を除くと98%。 ・医事 H30.8 外来 満足、やや満足で88.2%。無回答を除くと96.8%。 入院 満足、やや満足で95.3%。無回答を除くと100%。 ・給食 H30.9 身体科に実施 満足、やや満足で36.2%。普通までを含め80.6%。 ・給食 H30.12 精神科に実施 満足、やや満足で64.0%。普通までを含め64.0%。					H30.12実施の給食の満足度調査は、普通が0名のため同じ割合。
		入院診療単価	41,672	42,842	41,123	43,521	44,211	44,901	22	推進研修の定期的な実施を継続する。	(実施状況) H29.4 新採・転入職員へ実施 H29.6 看護補助者全員へ実施 H29.12 全職員へ実施 H30.7 外部講師による研修を実施 H30.9 外部講師による研修を実施					
	c 収支計画を踏まえた計画的な投資戦略	【精神】病床利用率	86.0%	85.4%	87.1%	85.4%	85.4%	85.4%	23	地域の医療ニーズ等を踏まえ、必要な増築等を検討する。 →ICU、外来棟等の検討。	(検討の経過) H29.5 コンサル契約及びキックオフ H29.6 コンサルと各部署とのヒアリング ・H29.8.9 毎月の経営幹部会議でコンサルから検討内容報告 ・H29.10 コンサルからの中間報告 →地域包括ケア病棟(40床~60床程度)の増床が必要と考えられる。 H30.3 コンサルからの報告 →地域包括ケア病棟(40床~60床程度)の増床が必要と考えられる。					必要病床数については引き続き検討中
		1日平均入院患者数	77.4	76.8	78.3	76.8	76.8	76.8	24	収支状況を踏まえ、電子カルテ等医療機器の更新時期を検討する。	(投資計画見直しの検討状況) 高額医療機器については、耐用年数以上にハードウェアの寿命を鑑み、更新時期の再設計を行う。					
	d 材料費の適正管理	入院診療単価	15,453	15,491	15,002	15,491	15,491	15,491	25	後発医薬品への切替えを促進する。	(後発医薬品使用率) H29.4-H30.3 85.8% H30.4-H30.6 88.3% H30.7-H30.9 88.9% H30.10-H30.11 88.0%					※H30.11までの実績。

第6期経営健全化計画の取組状況【あき総合病院】

No.	具体的な取組内容	達成状況	H30年度 第3四半期評価				コメント																										
			計画達成	進捗状況				評価保留																									
				計画以上	計画通り	遅延																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="5">目標値</th> </tr> <tr> <th>H28年度(実績)</th> <th>H29年度(計画)</th> <th>H29年度(実績)</th> <th>H30年度(計画)</th> <th>H31年度(計画)</th> <th>H32年度(計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>後発医薬品使用率</td> <td>85.7%</td> <td>87.9%</td> <td>85.8%</td> <td>88.4%</td> <td>88.9%</td> <td>89.4%</td> </tr> <tr> <td>材料費比率(対医薬収益)</td> <td>19.0%</td> <td>19.0%</td> <td>20.0%</td> <td>18.1%</td> <td>18.1%</td> <td>18.1%</td> </tr> </tbody> </table>	指標	目標値					H28年度(実績)	H29年度(計画)	H29年度(実績)	H30年度(計画)	H31年度(計画)	H32年度(計画)	後発医薬品使用率	85.7%	87.9%	85.8%	88.4%	88.9%	89.4%	材料費比率(対医薬収益)	19.0%	19.0%	20.0%	18.1%	18.1%	18.1%						
指標	目標値																																
	H28年度(実績)	H29年度(計画)	H29年度(実績)	H30年度(計画)	H31年度(計画)	H32年度(計画)																											
後発医薬品使用率	85.7%	87.9%	85.8%	88.4%	88.9%	89.4%																											
材料費比率(対医薬収益)	19.0%	19.0%	20.0%	18.1%	18.1%	18.1%																											
26	在庫数量を定期的に把握し適正な管理を行う。 →在庫回転期間を短縮するために発注点(在庫がこの数になったら発注する数量)の設定を行う。	(在庫回転期間) H29年度 第1四半期在庫回転期間 薬品 20.3 診療材料34.2 第2四半期在庫回転期間 薬品 26.9 診療材料31.6 第3四半期在庫回転期間 薬品 26.6 診療材料34.0 第4四半期在庫回転期間 薬品 20.7 診療材料32.3 H30年度 第1四半期在庫回転期間 薬品 31.3 診療材料32.6 第2四半期在庫回転期間 薬品 35.4 診療材料34.4 10-11月在庫回転期間 薬品 22.3 診療材料35.2				○	※H30.11までの実績。																										
27	権卸資産の受払記録を効率的に作成する方法を検討する。	(受払記録の検討・作成状況) 前年度、県立病院課と共同して実態調査、他病院の調査を行った内容を踏まえ、具体的な対応方法について、協議しながら進める。				○																											
28	債権管理条項や未収金管理マニュアル等に基づき、未収金発生時の未然防止と適切な管理を徹底する。 →福祉制度の利用支援等により、新たな未収金の発生を防止する。	(医療費に関する相談件数) H29.4-6 延14名 H29.7-9 延12名 H29.10-12 延15名 H30.1-3 延11名 H30.4-6 延2名 H30.7-9 延3名 H30.10-12 延5名				○																											
29	→未収金管理マニュアルに基づく回収を継続する。	(訪問徴収、支払督促等の状況) H29.8 自宅訪問実施(4名) H29.11 督促等実施 20名 50件 H29.12 督促等実施 35名 114件 H30.9 自宅訪問実施(3名) H30.10 督促等実施 34名 145件 H30.11 自宅訪問実施(6名)				○																											
30	効率的・効果的な回収業務委託となっているか、定期的に点検する。	(回収委託の状況) H29.5 12名 144万円 委託 H30.11 18名 199万円 委託				○																											
31	高知大学医学部への医師派遣要請を継続する。	(医師確保の状況) H29.5, 7, 11, 12 訪問 H30.2, 3 訪問 H30.4, 8, 9(公営企業局のみ) 訪問				○																											
32	健康政策部や高知医療再生機構等との連携を強化する。 →高知大学から派遣が困難な診療科の医師について、高知医療再生機構から人材派遣受入れを検討する。	(人材派遣受入の状況等) 高知医療再生機構からの医師派遣 (H29.4~H30.8 非常勤医師1名)				○																											
33	必要に応じて医師の公募を行う。 →高知大学の了承のもとホームページで医師の公募を行う。	(公募の状況等) ホームページに掲載(救急科)				○																											
34	看護師の助産師養成機関への派遣を通じた養成を継続する。	(派遣状況) 高知大学大学院就学中(2年目)				○																											
35	初期臨床研修医を確保する。	(研修医の確保状況) H28.4 研修プログラムの認定申請 →H29年度定員が3名に増員(H28年度は2名) H29.4 3名の初期臨床研修医を採用 H30.4 2名の初期臨床研修医を採用 H30.10 3名の研修医がマッチング				○																											
36	→レジナビ専修医募集イベント、高知大学医学部の説明会等への参加(継続)。	(参加状況) H29.6.5 高知県初期臨床研修合同説明会参加 6名 H29.7.2 レジナビフェア2017大阪参加 5名 H29.7.16 レジナビフェア2017東京参加 4名 H30.2.2 臨床研修病院合同説明会参加 4名 H30.6.11 高知県初期臨床研修合同説明会参加 6名 H30.7.1 レジナビフェア2018大阪参加 4名 H30.7.15 レジナビフェア2018東京参加 5名				○																											
37	専門医制度における研修医の受入体制を整備する。 →専門研修プログラムの連携施設に登録し、宿舎、医局等の研修環境を整備する。	(参加研修プログラム、専攻医の受入数) -高知大学の専門研修プログラムの連携施設に登録 (内科、外科、小児科、病理、救急科、眼科、精神科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、整形外科、脳神経外科、形成外科、総合診療、麻酔科) -高知赤十字病院の救急専門研修プログラムの連携施設に登録 H30.4 総合診療専門研修 1名				○																											
38	地域枠で入学した医学生を積極的に受け入れる。	(地域枠出身者又は医師養成奨学金受給者の受入数) H29.8 へき地医療実習 3名 H30.8 へき地医療実習 3名受入を予定していたが、台風のため中止				○																											
39	学外実習や病院見学の積極的な受入を継続する。	(受入数) H29.4-6 臨床実習Ⅱ(6年生) 13名 臨床実習Ⅰ(5年生) 2名 病院見学(6年生) 1名 H29.7-9 臨床実習Ⅰ(5年生) 12名 病院見学(6年生) 1名 高校生地域医療体験セミナー 5名 H29.10-12 臨床実習Ⅰ(5年生) 11名 H30.1-3 臨床実習Ⅰ(5年生) 1名 病院見学(4年生) 4名 H30.4-6 臨床実習Ⅱ(6年生) 15名 臨床実習Ⅰ(5年生) 1名 病院見学(6年生) 4名 H30.7-9 臨床実習Ⅰ(5年生) 11名 病院見学(6年生) 2名 H30.10-12 臨床実習Ⅰ(5年生) 14名				○	H30.10 レジナビのHPに当院が掲載された。																										
40	病院が必要とする資格取得について公費負担により支援する。	(公費負担による資格取得状況) H29.5-9 特定行為研修 1名 H29.6-12 認定看護師(救急看護) 1名				○	来年度、臨床中認定看護師養成学校を予定。																										

3 医療人材の安定確保!

第6期経営健全化計画の取組状況【あき総合病院】

	今後の取組	目標値						No.	具体的な取組内容	達成状況	H30年度 第3四半期評価				コメント		
		指標	H28年度	H29年度	H29年度	H30年度	H31年度				H32年度	計画達成	進捗状況			評価 備考	
			(実績)	(計画)	(実績)	(計画)	(計画)				(計画)		計画以上	計画通り			遅延
	○ 各種の業務補助者の適正配置 f プロパー事務職員の専門性の向上							41	医師事務作業補助者や看護補助者等の適正配置を継続する。 → 不足人員の募集を継続し、入職後の研修・フォローを充実させ離職防止を図る。	(医師事務作業補助者、看護補助者の配置数) 看護補助者雇用形態を追加した。 看護補助者の配置数は ・パート(7H)看護補助者8名、パート(4H)看護補助者4名 ・臨時看護補助者6名 ・非常勤看護補助者1名 医師事務作業補助者 ・H29.5 臨時→非常勤化 1名(計4名) ・H29.5-6 文書作成研修(12時間)を実施 4名							
								42	経営企画力の向上による経営改善 経営管理チーム(委託職員含む。)の設置を検討し、経営分析力を向上させる。	(経営管理チーム開催状況) ・H29.6、7、8、12、H30.3 企画チームと担当で、分析するための指標としてどのようなものが適しているか、収益UPにはどのような項目が関連しているか検討した。 ・H30.11から毎月幹部会で収益向上策の提案を実施。 ・退院支援について運用の見直しを実施、加算算定率の向上に繋がった。(一桁%→20%台)							
								43	病院組織のマネジメント力の向上に向けた研修体制の充実 → 外部研修への派遣と、受講者による組織内へのフィードバック。	(外部研修の受講状況) H29.6 医療情報学会への出席 H29.9 診療情報管理士学会への出席 H29.11 医療情報学会への出席 H29.12 日本クリニカルバス学会への出席 H30.1 山口診療情報管理研究会への出席 H30.6 日本がん登録協議会 学術集会への出席 H30.7 院内がん登録実務 初級者研修への出席 H30.9 診療情報管理学会への出席							
4 南海トラフ 地震対策の 充実・強化！	○ 業務継続計画(BCP)の実効性の担保							44	重症患者の院内からの搬送体制の整備 → 重症患者(ICU、NICU等)の院外搬送のため、病室から屋外へ搬送する手段、人員について検討し、H30年度の災害訓練での実施を検討する。	(検討の経過) ・H30.8.4 災害訓練時に院外搬送訓練実施 ・EVに事故復旧のプログラムがあるため、故障していない限りはEV搬送が可能。							
								45	県内外からの応援医療チームの受入体制の整備 → 受援内容の決定を行う院内組織体制の整備及び応援チームの受入体制を検討し、H30年度の災害訓練での実施を検討する。	(検討の経過) H29.6 県総合防災訓練で院内への活動拠点本部開設・運営訓練を実施 H29.11.26 災害訓練実施 随上自衛隊第50普通科連隊(衛生科隊員)との共同訓練を実施 H30.8.4 災害訓練時にDMAT受入れ訓練を実施							
								46	DMATの活動で使用する資器材の整備 → 既存資器材の更新を含めた整備計画(H29～H32年度)を作成する。	(計画の作成状況) H30予算申請(AED) H31予算申請(インターネット可能な衛星携帯電話)							
	○ 災害訓練等の充実・強化							47	災害発生時における勤務体制の相違を踏まえた訓練の実施 → 深夜帯等の災害発生を想定し、H29年度の災害訓練での実施を検討。	(訓練の実施状況)							
								48	患者収容能力の向上など、災害拠点病院としての役割・機能の発揮を想定した訓練の実施 → 被災者が多数来院することを想定し、廊下の配管設備の活用等、H30年度の災害訓練での実施を検討。	(訓練の実施状況) H29.11.26災害訓練実施 H30.8.4 災害訓練実施							

第6期経営健全化計画の取組状況【幡多けんみん病院】

	今後の取組	目標値					No.	具体的な取組内容	達成状況	H30年度 第3-四半期評価				コメント					
		指標	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度				H32年度	計画達成	進捗状況			評価保留				
			(実績)	(実績)	(計画)	(計画)				(計画)		計画以上	計画通り			遅延			
1 県民が地域地域で安心して住み続けられる医療提供体制の整備！	① 地域医療構想を踏まえた県立病院の果たすべき役割の発揮 強化 急性期病院としての医療機能の充実・ づたい地域医療を支える ネットワーク	(ア)地域医療構想で示された必要病床数への対応	○医療需要を踏まえた病棟・病床の在り方の検討					1	地域における今後の医療ニーズを踏まえ、病棟における診療科の再編・見直しを行うとともに、診療科の構成に応じた適切な看護体制等を構築することにより、安全・安心で質の高い医療の確保に向けた効果的な看護運営を行う。 →病棟再編ワーキングチームにより検討する。	○									
		(イ)地域がん診療連携拠点病院としての診療機能の充実	○がん診療に携わる医師の増員、病理医の充実					2	がん診療に携わる医師の増員に向けて、高知大学医学部への医師派遣要請を継続する。				○						
								3	健康政策部や高知医療再生機構等との連携を強化する。 →高知大学から派遣が困難な診療科の医師について、高知医療再生機構から人材派遣受入れを検討する。					○					
								4	必要に応じて医師の公募を行う。 →高知大学の了承のもとホームページで医師の公募を行う。					○					
		(ア)医師の派遣・応援の仕組みづくり	a 健康政策部との連携による医師派遣の仕組みづくり b 高知大学医学部等と連携した県立病院における医師の養成体制の整備					5	地域の中核病院である県立病院から地域の医療機関に医師を派遣するための仕組みを構築する。 →派遣医師の院内サポート体制を構築する。						○				
		(イ)地域医療支援病院の指定に向けた機能の充実	a 紹介率の向上につながる取組の強化 b 地域連携バスの活用拡大に向けた取組の強化					7	市町村や訪問看護事業者等といった地域において在宅生活を支える関係機関との連携強化による療養環境の整備 →地域の医療機関の訪問を実施し、紹介率向上のために求められるニーズを把握のうえ連携を強化する。					○					
								8	ICT(情報通信技術)などを活用した診療情報の共有による医療機関等との連携強化 →しまんネットまたは幡多郡クラウド型EHR高度化事業による情報共有。					○					
								9	脳卒中、大腿骨頭部骨折以外に係る疾患への地域連携バスの活用拡大 →医療科連携等の地域連携バスの使用件数増。					○					
		進②に地域包括ケアシステムの構築の推進	イ 介護・福祉分野等との連携の推進 ○地域包括支援センターや介護事業者等とのネットワークづくり					10	高知医療介護情報連携システムの活用による在宅療養の支援 →高知医療介護情報連携システムの活用を検討する。					○					
								11	地域での円滑な療養生活の実現に向けた市町村や訪問看護事業者等との定期的な意見交換の実施					○					
								12	退院後の円滑な生活を支える介護サービス等の確保に関して、介護支援専門員等と共同した相互の情報提供等を実施 →介護支援連携指導料の算定					○					
	2 医療機能の向上による経営の健全化！	a 収益の安定確保につながる取組の強化	医療収支比率					78.9%	80.1%	81.9%	82.6%	83.6%	13	包括評価制度(DPC)分析ソフトの活用等により、質の高い医療の提供に向けた取組(DPC機能評価係数の向上等)を検討する。				○	
		b 病院機能評価を通じた質の改善(患者満足度の向上)	経常収支比率					96.7%	98.1%	98.0%	98.7%	99.3%	14	病院機能の評価項目ごとに定期的な点検を行い、必要に応じて改善策を講じる。				○	
			病床利用率(結核除く)					71.5%	76.7%	74.9%	76.1%	77.3%	15	医事や給食に関する患者満足度調査を定期的に行い、改善策を検討する。				○	
			1日平均入院患者数					223.1	230.2	232.8	236.6	240.5	16	接遇研修の定期的な実施を継続する。				○	
		c 収支計画を踏まえた計画的な投資戦略	入院診療単価					51,162	51,620	51,800	51,813	52,097	17	収支状況を踏まえ、電子カルテ等医療機器の更新時期を検討する。				○	

第6期経営健全化計画の取組状況【幡多けんみん病院】

今後の取組	目標値					No.	具体的な取組内容	達成状況	H30年度 第3-四半期評価				コメント		
	指標	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度				H32年度	計画達成	進捗状況			評価保留	
		(実績)	(実績)	(計画)	(計画)				(計画)		計画以上	計画通り			遅延
d 材料費の適正管理	後発医薬品使用率	83.6%	82.9%	84.9%	85.9%	86.9%	18 後発医薬品への切替を促進する。	(後発医薬品使用率) 10~12月 85.1%			○				
	材料費比率 (対医薬収益)	21.6%	22.2%	20.6%	20.6%	20.6%	19 在庫数量を定期的に把握し適正な管理を行う。 →在庫回転期間を短縮するために発注点(在庫がこの数になったら発注する数量)の設定を行う。	(在庫回転期間) ・診療材料の在庫については診療材料委員会で検討。 ・医薬品については定期的に発注点を見直し検討を行う。			○				
							20 棚卸資産の受払記録を効率的に作成する方法を検討する。	(受払記録の検討・作成状況) ・診療材料については対応できているがより精度を高めていく。 ・薬品については取り込むデータ内容の整備を行っている。				○			
							21 債権管理条例や未収金管理マニュアル等に基づき、未収金発生の未然防止と適切な管理を徹底する。 →福祉制度の利用支援等により、新たな未収金の発生を防止する。	(医療費に関する相談件数) ・MSWによる医療費(高額療養費、障害者制度、公費負担制度等)に関する相談件数 4~6月実績:173件 7~9月実績:206件 10~12月実績:192件			○				
e 未収金発生の未然防止と適正管理による縮減							22 未収金管理マニュアルに基づく回収を継続する。	(支払督促、訪問徴収等の状況) ・督促状等の文書送付 5/30 25件・2,048,290円 7/11 19件・1,858,430円 8/13 2件・353,590円 9/12 19件・3,151,420円 11/7 9件・1,195,280円			○				
							23 効率的・効果的な回収業務委託となっているか、定期的に点検する。	(回収委託の状況) ・回収委託 5/28, 9/14 ・回収実績 4~6月:33件・648,486円 7~9月:25件・270,464円 10~11月:17件・133,280円			○				
							24 高知大学医学部への医師派遣要請を継続する。	病理医についてはH30.4.1付けで1名着任。			○				
3 医療人材の安定確保!	a 医師をはじめとする医療スタッフの確保						25 健康政策部や高知医療再生機構等との連携を強化する。 →高知大学から派遣が困難な診療科の医師について、高知医療再生機構から人材派遣受入れを検討する。	NO.3に記載				○			
							26 必要に応じて医師の公募を行う。 →高知大学の了承のもとホームページで医師の公募を行う。	No.4に記載				○			
							27 看護師の助産師養成機関への派遣を通じた養成を継続する。	30年度は助産師養成のための派遣は行っていないが、高知県立大学からの助産師実習の人数を増やし、学生時からの助産師育成と確保を目指している。学生を追加でも受け入れ、分娩実習の件数増につなげることができた。学生・教員からも高評価を頂いた。また次年度助産師受給希望者があり、支援を開始した。2月に後期募集で受験予定である。			○				
							28 初期臨床研修医を確保する。	H29年度生:3名/枠5名、H30年度生:6名/枠5名 H31年度生募集枠7名(マッチング6名+自治医1名) ・マッチング応募者(受験者)5名 ・マッチング者数4名、残り3枠募集中			○				
b 医師の養成研修への積極的な対応							29 レジナビ等研修医募集イベント、高知大学医学部の説明会等への参加(継続)。	各イベント参加状況 ・5/27eレジ東京、6/11高知大説明会、6/17eレジ大阪、7/1レジンナビ大阪、7/15レジンナビ東京			○				
							30 専門医制度における研修医の受入体制を整備する。 →専門研修プログラムの連携施設に登録し、宿舍、医局等の研修環境を整備する。	19領域中15領域で連携施設稼働中。 ・小児科は基幹施設としてプログラム申請済み ・総合診療専門医については2名受入れあり			○				
							31 地域枠で入学した医学生を積極的に受け入れる。 →地域枠卒業生が増加し、高知市、南国市以外の医療機関での勤務ニーズが高まるため、受入れを積極的に行う。	地域枠卒業生・奨学金受給者11名(うち研修医8名)			○				
c 卒前教育への協力							32 学外実習や病院見学の積極的な受入を継続する。	・学外実習6年生16名、5年生36名 ・病院見学7名受入れ済み			○				
							33 病院が必要とする資格取得について公費負担により支援する。	(公費負担による資格取得状況) ・認定看護師更新 2名(10/12合格) ・認定看護師認定 1名(7/13合格) ・第2種滅菌技士認定更新 1名(申請中) ・第2種滅菌技士認定認定 1名(申請中)			○				
d 医師以外の医療スタッフの専門性の向上							34 医師事務作業補助者や看護補助者等の適正配置を継続する。 →不足人員の募集を継続し、入職後の研修・フォローを充実させ離職防止を図る。	(医師事務作業補助者、看護補助者、看護助手の配置数) 10/1 9人 3人 32人 11/1 9人 3人 30人 12/1 9人 3人 28人			○				
							35 薬剤管理委託業務の拡大を検討する。				○				

第6期経営健全化計画の取組状況【幡多けんみん病院】

	今後の取組	目標値					No.	具体的な取組内容	達成状況	H30年度 第3-四半期評価				コメント		
		指標	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度				H32年度	計画達成	進捗状況			評価保留	
			(実績)	(実績)	(計画)	(計画)				(計画)		計画以上	計画通り			遅延
	f プロパー事務職員の専門性の向上						36	経営企画力の向上による経営改善 経営企画担当の体制強化等により、経営分析力を向上させる。 一経営分析に基づいた収支改善策を経営幹部へ提案する。	(分析資料の作成状況) ・体制強化 ・総務担当による研修(病院管理研修 医療経営 専攻課程)への参加 5/11-12、6/15-16、7/21-22、8/24-25、9/14-15、 10/27-28							
							37	病院組織のマネジメント力の向上に向けた研修体制の充実 一外部研修への派遣と、受講者による組織内へのフィードバック。	(外部研修の受講状況) ・病院管理研修医療経営専攻課程受講							
4 南海トラフ地震対策の充実・強化！	○業務継続計画(BCP)の実効性の担保						38	医療機器等の安全性の確保 一医療機器等の機能維持と安全性の確保対策について医療機器メーカー等から情報収集を行い、検討(予算化)を実施する。	*9月に医療機器の地震対策についてメーカーに調査を実施。 ①アンギオ装置の附属端末キャビネットの転倒防止。 ②放射線関連運動サーボの移設および転倒防止。 ③逆流透水製造装置の配管のフレキシブルホース化。 費用対効果を検討し、①を実施する。1月施工予定(先注済み)。							
							39	重症患者の院内からの搬送体制の整備 一重症患者(ICU、NICU等)の院外搬送のため、病室から屋外へ搬送する手段、人員について検討し、H30年度の災害訓練での実施を検討する。	(検討の経過) ・H30.6 エレベーターが使用できない時に階段を使って患者を搬送するためのエアーストレッチャー4台を購入。H31年度予算として更に8台の追加購入を申請。 ・これまでの訓練から患者搬送の円滑な情報伝達および搬送を課題とし、11/17(土)実施の災害訓練において高知果実害時医療救護計画と異なる流れを検証し、有効と判断した。(今年度末の災害時医療救護計画改訂で反映される予定。)							
							40	県内外からの応援医療チームの受入体制の整備 一支援内容の決定を行う院内組織体制の整備及び応援チームの受入体制を検討し、H30年度の災害訓練での実施を検討する。	(検討の経過) ・大規模地震時医療活動訓練(8/4)において、DMAT活動拠点本部および参加DMATとの連携訓練を実施。 【課題】DMAT活動拠点本部および当院災害対策本部でネット通信に使用するパソコンの台数不足。31年度予算に20台申請。一7台に縮小							
							41	DMATの活動で使用する資器材の整備 一既存資器材の更新を含めた整備計画(H28~H32年度)を作成する。	(計画の作成状況) ・未検討。医療機器の更新及び職員装備の追加購入の検討が必要。							
		○災害訓練等の充実・強化						42	災害発生時における勤務体制の相違を踏まえた訓練の実施 一深夜帯等の災害発生を想定し、H30年度の災害訓練での実施を検討。	(訓練の実施状況) ・事務機器、情報機器の充実度および災害時の現実的な流れの観点から、経営事業課事務室への災害対策本部の設置を検討。11/17(土)実施の災害訓練において検証し、有用と判断した。						
							43	患者収容能力の向上など、災害拠点病院としての役割・機能の発揮を想定した訓練の実施 一被災者が多数来院することを想定し、廊下の配管設備の活用等、H30年度の災害訓練での実施を検討。	(検討の経過) ・収容能力の拡大のために必要とする設備について要検討。							

第6期経営健全化計画の取組状況【県立病院課】

	今後の取組	目標値					No.	具体的な取組内容	達成状況	H30年度 第3四半期評価				コメント		
		指標	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度				H32年度	計画 達成	進捗状況			評価 保留	
			(実績)	(計画)	(計画)	(計画)				(計画)		計画以上	計画通り			遅延
営2 の 健 全 化 ！ の 向 上 に よ る 経	d 材料費の適正管理						1	棚卸資産の受払記録を効率的に作成する方法を検討する。	29.9.25 両病院に薬品品材の受払管理に係る照会を実施。 課題の整理を継続中					○		
	e 未収金発生の未然防止と適正管理による縮減						2	債権管理条例や未収金管理マニュアル等に基づき、未収金発生を未然防止と適切な管理を徹底する。	29.10.25 H29年4月施行した高知県債権管理条例に基づく債権放棄について、知事部局の定める具体的手順等についてすり合わせを実施。 29.11.13 各病院経営事業部長に対し知事部局における検討状況について報告。 30.1.31 各病院事務担当者に高知県債権管理条例に関する説明会を開催。 30.3.26 公営企業局債権管理推進部会を開催。 30.4.9 「個人未収金」に係る遅延損害金及び債権放棄の状況について全国照会を実施。 30.11.7 公営企業局債権管理推進部会を開催。10件(139,460円)の債権が放棄要件を満たしているとして承認された。 30.12.17 債権放棄に係る債務者住所氏名の公表等について、文書情報課と協議。			○				
保3 ！ 医 療 人 材 の 安 定 確	a 医師をはじめとする医療スタッフの確保						3	高知大学医学部への医師派遣要請を継続する。	29.5.16 第一内科教授訪問(局長、あき総合病院長) 29.7.18 学長・産婦人科教授訪問(局長、あき総合病院長) 29.11.14 小児科教授訪問(局長、あき総合病院長) 29.11.20 第二内科教授訪問(あき総合病院、県立病院課) 30.3.20 学長、学部長、院長訪問(局長、あき総合病院) 30.4.10 学長、院長、地域医療支援センター長訪問(局長、あき総合病院長、県立病院課) 30.8.14 産婦人科教授訪問(あき総合病院長、県立病院課) 30.9.21 院長訪問(局長、県立病院課) 30.11.13 学部長・第二内科教授・老年病科教授訪問(局長、あき総合病院長、県立病院課) 30.11.20 医学情報センター教授訪問(あき総合病院長、県立病院課)			○				
	f プロパー事務職員の専門性の向上						4	病院組織のマネジメント力の向上に向けた研修体制の充実	病院管理研修(医療経営専攻:全28講義)派遣 あき2名、種多2名 診療情報管理士通信教育受講 あき1名			○				
化のフ4 ！ 充 地 南 実 震 海 対 強 策 ラ	○業務継続計画(BCP)の実効性の担保						5	災害時の県立病院課職員の役割を明確化	29.10.月 総務、経理及び経営支援各担当業務について、発災後72時間後及び1か月後までの2段階での業務抽出及び優先順位づけを実施完了。			○				